

# 人間と環境をテーマに改組した 長岡大学 **キャンパス**

## 中越六大学を訪問する①

中越地域（長岡・柏崎・魚沼）にある六つの大学をシリーズで紹介します。  
第一回は、長岡市の御山にキャンパスのある長岡大学です。

長岡大学は平成十九年度から学部名称を経済経営学部と改め、環境経済学科と人間経営学科の二学科を置くことになりました。新しい時代に相応しい経済と経営を学んでもらいたいと考えたからです。二十世紀は工業の発展で経済は成長し、社会はモノに関しては豊かになりました。その過程で、経済合理性と経営の効率が第一に追求され、自然環境や人間らしい生き方が犠牲にされる面も少なからずありました。この結果が今の地球環境問題であったり、ゆとりの失われた生活であったりするのです。

いくら経済が発展しても、人類生存の基盤である地球環境が損なわれたり、人と人との繋がりが壊れては、元も子もないでしょう。二十一世紀には、地球環境に優しく、地球環境を維持しながら発展することのできる経済システムに作り変える必要があります。企業経営も顧客はもとより働く人にとっても優しく思いやりのあるものにならなくてはいけません。そして、現実の社会はそのような方向を目指して動き始めています。

「環境に優しい経済」「人に優しい経営」を学ぶというコンセプトはまだ学部としては珍しいようです。私たち長岡大学は二十一世紀の新しい経済と経営のあり方を切り開くという意気込みで、教育プログラムの開発を進めています。

原陽一郎（長岡大学学長）

